

教員の魅力を再発見！

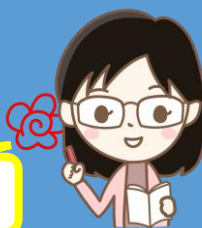
学校サポーター

募集 中！



いっしょに遊んでくれた
やさしく教えてくれた

子どもが学ぶ様子がよくわかる
先生の仕事のイメージがつかめた
教職に就く前に経験できてよかった



支援活動内容

- ◆ 学校行事に関する指導補助
- ◆ 安全管理・確保に関する指導補助
- ◆ 教科指導やチームティーチング等に関する指導補助
- ◆ クラブ活動に関する指導補助
- ◆ 特別な支援を必要とする園児・児童・生徒への指導補助
- ◆ 情報教育に関する指導補助
- ◆ その他、学校園が必要とする指導補助

※ 裏面に学校サポートに参加しての感想を掲載しています。

➡ 奈良市教育委員会では、奈良市立の幼稚園、こども園、小学校、中学校で、学校の活動を支えてくれる大学生を募集しています。

➡ 実際に学校園の現場に入って、子どもとの関わり方などについて学び、将来教員として必要な資質を身に付けませんか？

➡ あなたの若いエネルギー・発想力を、ぜひ実際の学校現場で活かしてください！

学校サポートQ&A

- Q: 毎週決まった曜日に参加しなければいけませんか。
A: 配置校にとってはそれがありがたいですが、大学のカリキュラムや自分の都合で変更可能です。
例) ・大学の休みを利用して短期に集中して参加
・大学が忙しいので週に2時間だけ参加
・教育実習が終わったけれど続けて参加etc
(詳細は相談してください)
- Q: 教職を目指すことが参加の条件ですか。
A: 今は教職を目指してなくても、将来的に目指す可能性があれば参加してください。
- Q: 高校教師志望ですが高校に配置はないのですか。
A: 高校への配置はありませんが、他の校種でも学校の実情を経験することができます。
- Q: 年度の途中からでも参加できますか。
A: はい可能です。6月以降の配置前研修は随時受付します。(※1)

参加していただける方

- ◆ 連携大学(※4)に在籍する教員志望(※5)の大学生、大学院生、研究生
- ◆ 奈良市在住の教員志望(※5)の大学生、大学院生、研究生

(※4 奈良教育大学・奈良女子大学・帝塚山大学・奈良大学・天理大学・奈良学園大学・畿央大学・近畿大学・佛光大学)

(※5 養護教諭、栄養教諭、カウンセラーも含む)



奈良市HP (学校サポート)



お問い合わせフォーム
(学校教育課)

登録から派遣まで

- ・ 学校サポーターとして活動していただくためには、事前に奈良市教育委員会事務局主催の配置前研修を受講していただくことが必要です。(※1)
- ・ 配置前研修の際に登録用紙に記入いただき、派遣先の学校園の候補を決定します。(※2)
- ・ 受け入れ先学校園の決定後、後日、学校園から、連絡があります。活動先の学校と具体的な活動日や内容などを調整し、活動を開始します。(※3)

(※1 左の奈良市HP (学校サポート) のQRコードから受講方法を確認してください)

(※2 登録しても必ず活動していただけるとは限りません)

(※3 学校の状況により、希望する学校園で活動いただけない場合があります)

お問合せは、奈良市教育委員会事務局学校教育課指導係まで
(TEL 0742-34-1111)

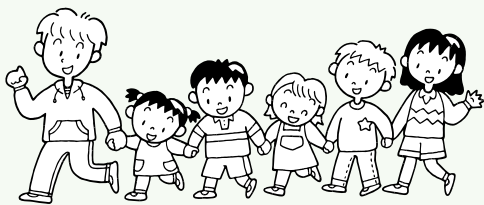
学校サポートに参加しての感想



学校サポートを通して、児童との適切な関わり方はもちろん、先生方の授業や指導を見て学ぶことができました。また、先生方にはお忙しい中、助言や指示をいただきとても感謝しています。

学校サポートに参加し、学校現場の雰囲気や児童の様子を実際に見ることができた。教室では児童同士の関わり方や授業への意欲、先生方の声掛けなど、日常の中での工夫が多く見られた。現場を体験することで、児童理解の大切さや支援の在り方について考えるきっかけとなった。

初めて学校現場で活動する中で、特別支援学級と通常学級それぞれの実態や、生徒の多様な学びの姿に触れることができた。授業の進め方や教師の声掛けの工夫など、大学の学びだけでは得られない気づきが多くあった。また、多くの生徒と関わる中で、信頼関係を築くことの大切さや、教育に携わることの喜びを感じることができた。



学校サポートに参加して、実際の教育現場の雰囲気や先生方の仕事の流れを間近で見ることができ、とても貴重な経験になった。授業中の生徒の反応や先生方の臨機応変な対応から、教科指導だけでなく、子ども一人ひとりへの理解や関わり方の大切さを学んだ。

児童への声のかけ方やクラスの掲示物、授業の進め方など多くのことを学ぶことができました。それぞれの工夫や配慮が、児童の理解や意欲に大きく影響していると実感し、今後の自分の指導に生かしていきたいと強く感じています。

学校サポートを通して、子どもたちの学び姿や、先生方の指導方法など様々な経験をすることができた。先生方が生徒にする声掛けやサポートを見て、教員の関わり方が生徒の安心や意欲につながることを学んだ。

今回の学校サポートの活動で、初めて教師側の目線で学校現場を体験した。様々な学年、クラスに入らせていただき、その学年によって先生が児童に対するときの関わり方を変えているのを目の当たりにした。また、様々な児童に対するときの工夫も見えて、自分自身のとてもよい勉強になった。

中学校での学校サポート活動を終え、大きな達成感と貴重な経験を得ることができました。この活動を通して、教えることの難しさや、生徒一人ひとりに合わせたコミュニケーションの重要性など、多くのことを学びました。また、学校という場所が、生徒たちの成長を支えるために様々な工夫をされていることを肌で感じることができました。

学校サポートに参加し、実際に現場で活躍されている先生方の話を聞くことで、教員として必要なことや、やりがいを教えていただいたりすることができて教員採用試験の対策をすることができたことです。また、児童の授業中での学習支援を行うことで、一人ひとりの個性を見つけたり、授業を通してどのような力を身につけてほしいのか考えながら授業を進めることが大切だと学ぶことができました。

学校サポートに参加し、通常学級や特別支援学級など幅広い学年と接する機会があった。発達段階が異なるため学年に合わせたサポートが必要になり、様々な体験をすることができた。活動を通じて児童の当てる方や褒め方、叱り方など先生方の指導法を近くで見ることができ、とてもよい経験になった。